

ホソバカナワラビ	<i>Arachniodes aristata</i> (G.Forst.) Tindale	準絶滅危惧
		オシダ科
選定理由	分布域の多くが人の生活領域に含まれているため、環境の変化による種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村瀬正成)
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は長くはい、葉は50-80cmの間隔をおいて出る。頂羽片は尾状になる。最下羽片の下向き第1小羽片は長い。	
生態的特徴	山林中のやや乾いた林床に生育し、群生することが多い。	
分布状況	北海道から九州に分布する。岐阜県では県南西部に生育地がある。	
減少要因	山林の開発による生育地の消失、山林の放置による荒廃で生育環境が大きく変化している。	
保全対策	生育地の開発防止と保全、山林の整備や除伐など生育環境を維持する活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成